

| | |
|-----------------|---------------------------------|
| 中学校区におけるめざすことも像 | 健やかに成長することも 自分の考えや思いを豊かに表現することも |
|-----------------|---------------------------------|

| |
|--|
| 令和8年度 重点目標 授業・学級経営・学年経営を通して全教職員で総合的な学力の向上を図る ～子ども同士の協働を通じて考えを深める教育活動～ |
|--|

| | |
|--|--|
| <p>確かな学びの現状 本校の全体的な実態として、学習に課題のある児童が多い。その課題とは、知識・技能面であったり、意欲面であったりと様々である。その中でも「既習事項の定着が不十分(知識・技能面)で、授業に参加する気が起きない(意欲面)」児童が多い。また、考えたことについて話をすることはできるが、違う考えを受け入れたり自らの考えを柔軟させたりと、対話を学びにつなげられていない現状もある。これらのことから、学習の定着と総合的な学力の向上をめざし、子ども同士が協働して考えを深めることのできる授業づくりに取り組んでいく。さらに、学習指導の重点目標を「協働し、学びを深めるために必要なことは何か?～総合的な学力の向上をめざして～」とし、子ども一人ひとりが協働し学びを深めるために必要な条件を、全教職員で協働しながら明らかにしていく。「協働」の中では、「聴く力」の育成に力を入れ、相手の意見を受け入れ学びにつなげられる素地づくりを図っていく。授業での学びを学校生活や日常生活で生かしたり、子どもが実際に学習してきたことを子ども自らが進んで活用することができる場を設定していけるようにしたい。</p> | <p>豊かな心・健やかな体の現状 本校は児童数の割に運動場が狭く、休み時間だけでは満足に体を動かす時間を確保しにくい現状にある。今年度も体育授業で計画的にいろいろな種目に取り組みるように配慮するとともに、委員会活動を通して体力向上への取り組みや運動への動機づけを行っていく。 早寝・早起き・朝ごはんの基本的な生活習慣が身につけていない児童も多く、家庭への啓発が必要である。生活リズム調べを行い、課題の改善に努める。 大規模校であり、生活環境の違いから多様な成長段階の児童がみられるが、その多様性を活かして「ちがいを認める」ことができるように生活のあらゆる場面で見逃すことなく指導を徹底していく。いじめ・不登校などに対して、個々の事案への対応だけでなく、各学級・学年による予防指導と、素早い組織的な指導を進めていく。</p> |
|--|--|

| 大項目 | 中項目 | 具体目標 | 具体的取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組) | 判断基準 (評価のものさし) | 評価方法 | 評価時期 | 進捗確認 (～11月) | 達成状況(年度末) | |
|------------|-------------------------|--|---|---|-----------------------|-----------------------|----------------|-----------------|---------|
| | | | | | | | | 自己評価 | 学校関係者評価 |
| 確かな学び | 学習習慣の定着 | 豊かな語彙と確かな計算力を身につけることができる。(学力向上) | 作文を書く際、語彙指導にも取り組む。朝の時間やすきま時間を活用して計算力向上の取り組みを行う。 | 【教員アンケート】 「言葉の力や計算の力をのばすための取り組みをしている」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「言葉の力や計算の力をのばす学習をしている」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | 校内研修の充実 | 総合的な学力の向上に向けて、協働を取り入れた授業及び授業研究を行う。(研修) | 「協働」を視点にして、研究授業、討議会や研修会議を行う。 | 【教員アンケート】 「子どもたちが協働できるような言語能力をのばすための取り組みをし、授業では協働場面を設定している」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「授業で、自分自身でよく考えたり、友だちと話し合っよく考えたりしている」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | 情報ツールの活用 | 自分の思いや考えをICTを使って表現することができる(ICT) | 児童の思いや考えを、発表ノートやパワーポイントなどを使って表現できるようにする。 | 【教員アンケート】 「児童がICT(タブレットなど)を使って、自分の思いや考えを表現できるように、指導をしている」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「タブレットを使って自分の考えをあらわすことができる」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| 豊かな心・健やかな体 | 自尊感情の育成 | いじめ・不登校の予防的対策に取り組む。(生指) | 予防的対応を視点として、担任(生指も)が中心として子どもの変化を見取る。SSWとの連携、学校(授業)での居場所づくり・仲間づくり | 【教員アンケート】 「日々の授業の中で、子どものわずかな変化を見逃さないようにし、対応すべき事態があれば、職員同士で情報を共有する」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「学校に行くのは楽しい」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | | 「あいさつ」ができ、豊かな人間関係を築くことができる子を育てる。(生指) | ・全職員が児童に日々声掛けし、児童に常に意識させる。 ・朝礼や委員会などで、啓発する。 | 【教員アンケート】 「あいさつの大切さを教えたり、あいさつをするように指導したりしている」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「あいさつの大切がわかり、毎日、先生や友だちにあいさつをしている」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | | 「帽子」「名札着用」「ろうか歩行」ができ、安全に気をつけたり、コミュニケーションを円滑にしたりするだけでなく、規範意識のある子を育てる。(生指) | ・全職員が児童に日々声掛けし、児童に常に意識させる。 ・朝礼や委員会などで、啓発する。 | 【教員アンケート】 「帽子・名札の着用、ろうか歩行をするように指導している」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「登下校や、体育、外遊びのときは、帽子をかぶっている」「学校で過ごす時間は名札を胸につけている」「ろうかでは走らず、歩いている」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | 健康で丈夫な体作り | ありのままの自分や友だちのことを知り、お互いを認め合い、自分や友だちを大切に、助け合うことができる。(人権) | 学校全体で自分のことを知るための「自分マップ」を行い、「つながりのわ」など人とのつながりを意識した教育活動を展開する。 | 【教員アンケート】 「自分マップ」「つながりのわ」等の取り組みなど、児童が自分のことを知るための取り組みや児童同士がつながる手だてを行っている。」という教員が90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「自分や友だちのいいところを知っている。」「自分や友だちを大切に、助け合うことができる。」という児童が90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | | カリキュラムマネジメントに基づいた道徳の授業の充実を図る。(道徳) | カリキュラムマネジメントに基づいて道徳の指導計画を立てる。授業参観で道徳の授業を行う。交換道徳を行う。 | 【教員アンケート】 「カリキュラムマネジメントに基づいて道徳の指導を行った」という教員が90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「道徳の授業では、友だちの考えを聞き、自分の考えをもったり広げたりすることができた。」という児童が90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | | サポート委員会、ケース会議を活用し、支援が必要な児童について対策を図る。(支援) | 支援が必要な児童に対して適切なサポートを考える。 | 【教員アンケート】 「サポート委員会・ケース会議を活用し、支援が必要な児童の情報を共有しながら、対策を図っている。」の項目が90%以上でA、60%以下でCとする。 | ・教員アンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | | 基本的な生活習慣の大切さを理解させ、健康で丈夫な体作りに対する意識改善を図る(保健・食育) | 「睡眠指導」「栄養指導」を行い、より良い生活習慣の定着と意識向上に取り組む。 | 【教員アンケート】 「基本的な生活習慣の大切さについて話すとともに、給食指導の中でバランス良く食べる大切さを伝えている。」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「自分の健康のために早寝早起きを心がけたり、給食を残さず食べようとしていた」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | |
| | 体育が楽しいと感じられる児童を増やす。(体育) | 体育授業において、ほめる認める・励ますなどの肯定的な言葉がけをするともに、子ども同士が声を掛け合う時間を確保する。 | 【教員アンケート】 「体育において、取り組む態度や子ども同士の関わりを積極的に価値づけようとした」という教員が、90%以上でA、60%以下でC。 【子どもアンケート】 「体育の授業で、友だちや先生に褒めてもらったり、がんばりや成長を認めてもらった」という子どもが、90%以上でA、60%以下でC。 | ・教員アンケート ・子どもアンケート | 6月下旬 11月上旬 2月上旬 | | | | |
| | 校長より(年度末) | | | | | | | 学校関係者評価者から(年度末) | |